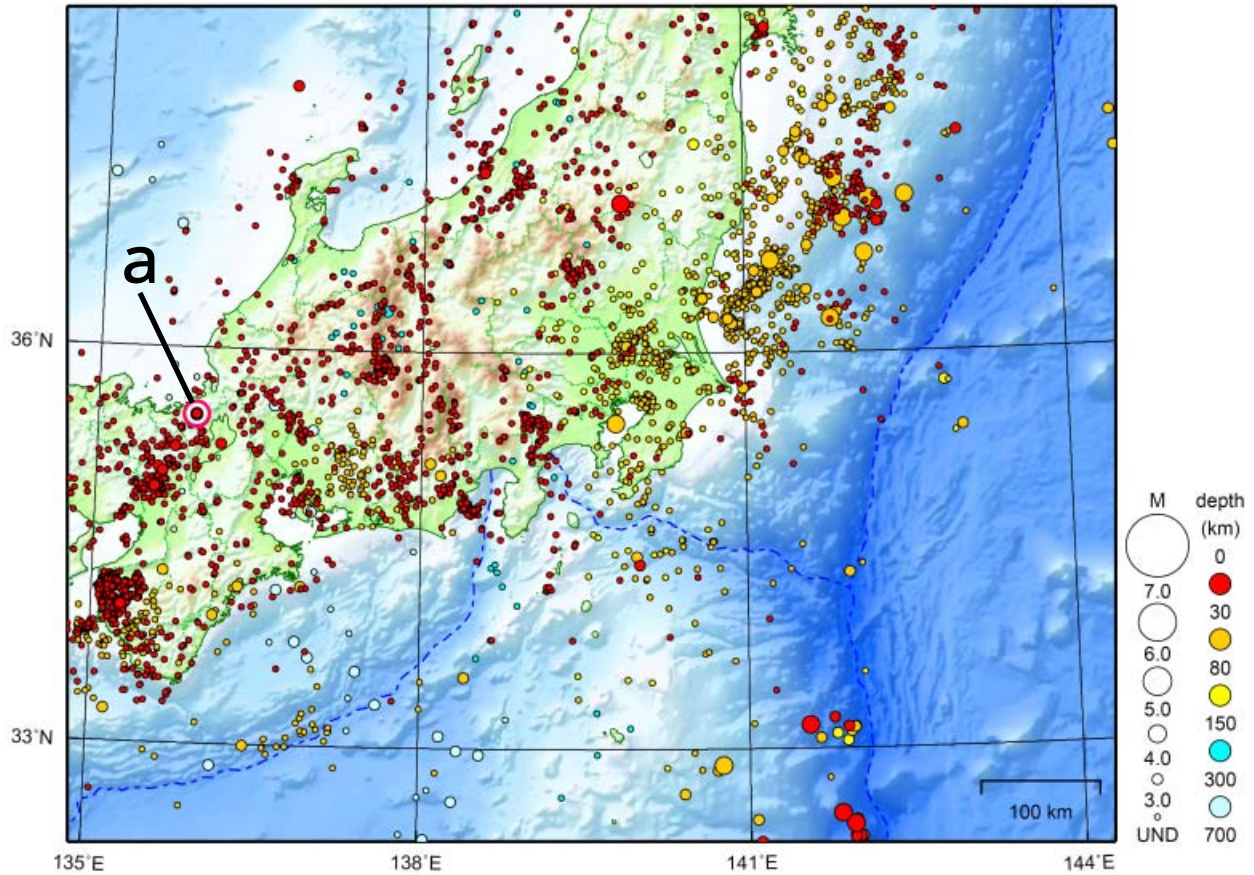


関東・中部地方

2009/11/01 00:00 ~ 2009/11/30 24:00

N=4052



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

a) 11月22日に福井県嶺南で M3.7 の地震が2回(いずれも最大震度3)が発生した。

(地図の範囲外)

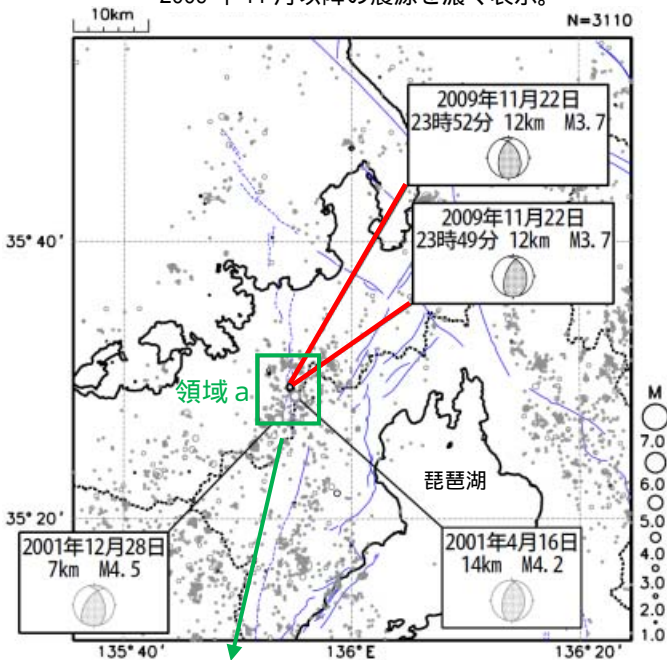
11月4日に小笠原諸島西方沖で M5.6 の地震(最大震度3)が発生した。

気象庁はこの地震に対して〔父島近海〕で情報発表した

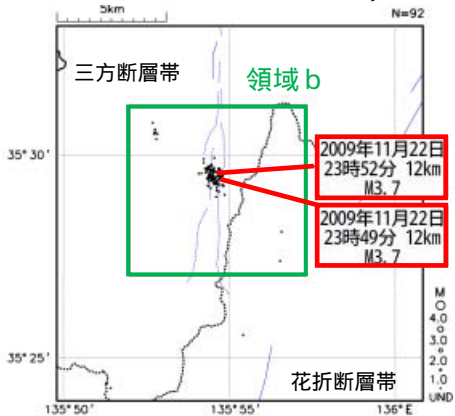
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

11月22日 福井県嶺南の地震

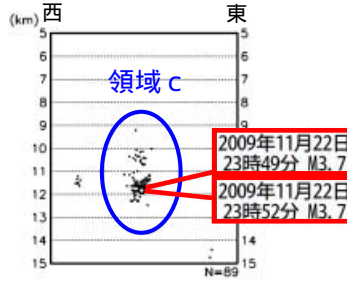
震央分布図 (1997年10月1日～2009年12月6日、
深さ0～20km、M 1.0)
2009年11月以降の震源を濃く表示。



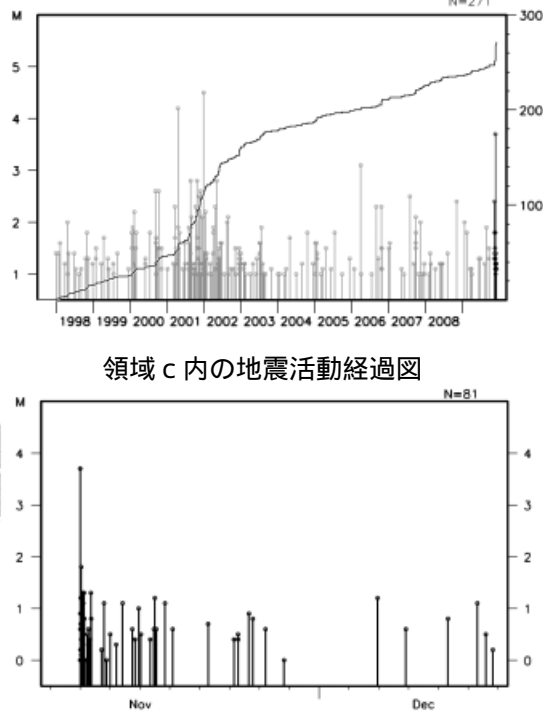
(2009年11月22日以降、深さ5～15km、Mすべて) 細実線・点線は地震調査委員会による主要活断層帯。



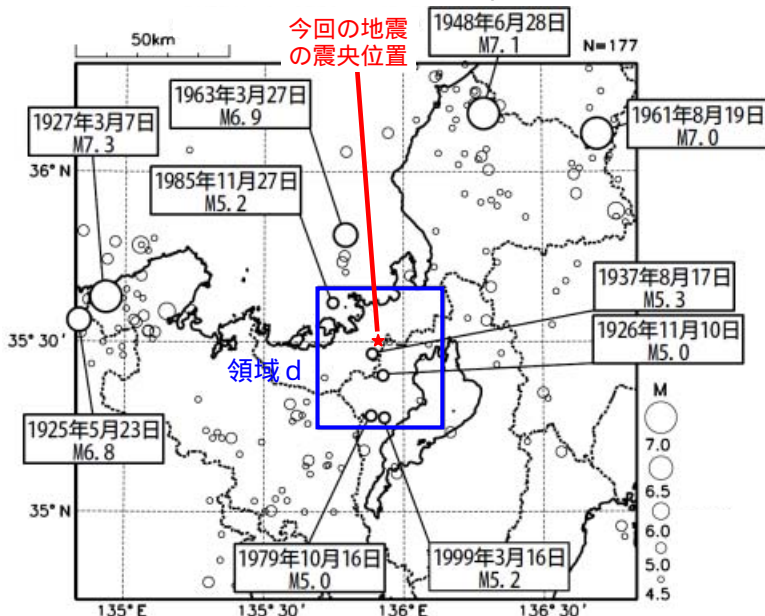
領域bの断面図 (東西投影)



領域c内の地震活動経過図



震央分布図 (1923年8月1日～2009年11月30日、
深さ0～30km、M 4.5)

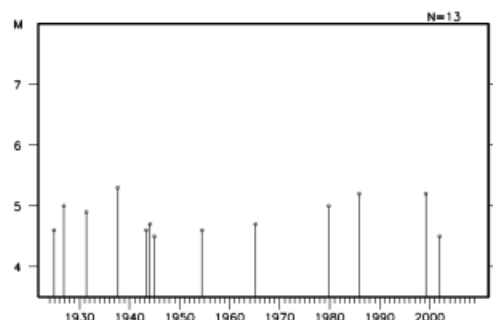


2009年11月22日23時49分と23時52分に福井県嶺南の深さ12kmでそれぞれM3.7の地震 (いずれも最大震度3) が発生した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、この付近でよく見られる型である。余震活動は徐々に収まりつつある。

今回の地震は、福井・滋賀県境付近の地震活動が比較的活発な領域内に位置しており、この付近では2001年4月16日にM4.2の地震 (最大震度3)、同年12月28日にM4.5の地震 (最大震度4) が発生している。

なお、今回の地震の震央付近には三方断層帯があり、同断層帯の走向と今回の発震機構における節面の走向は概ね整合している。

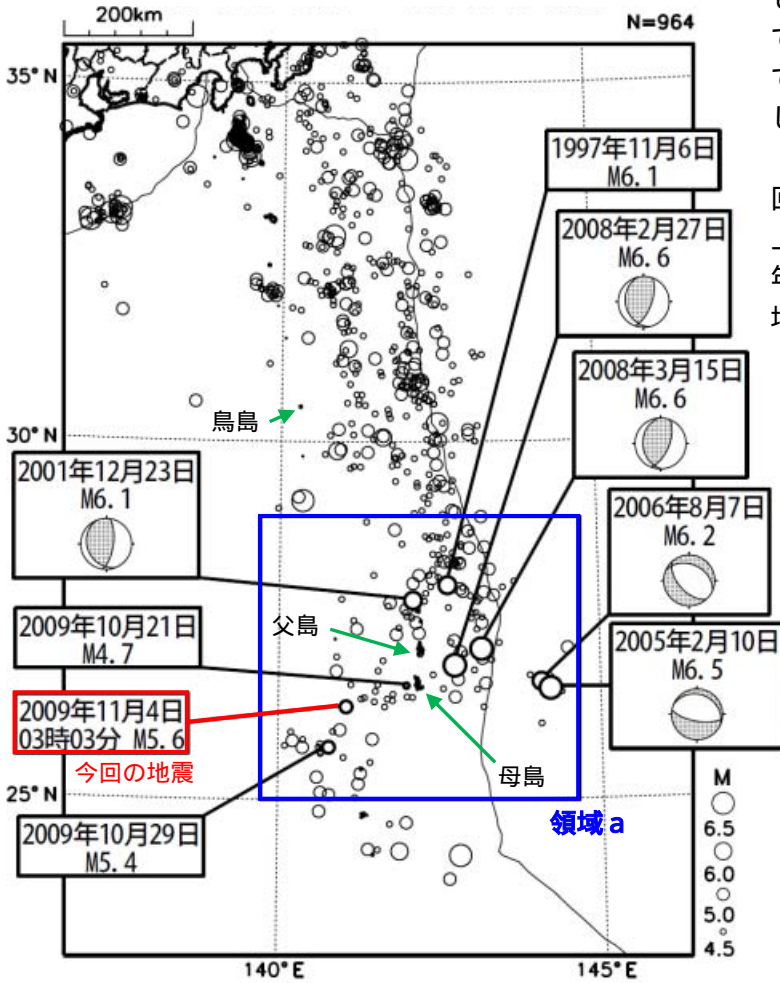
領域d内の地震活動経過図



11月4日 小笠原諸島西方沖の地震

気象庁はこの地震に対して〔父島近海〕で情報発表した

震央分布図 (1997年10月1日~2009年11月30日、深さ0~200km、M 4.5)

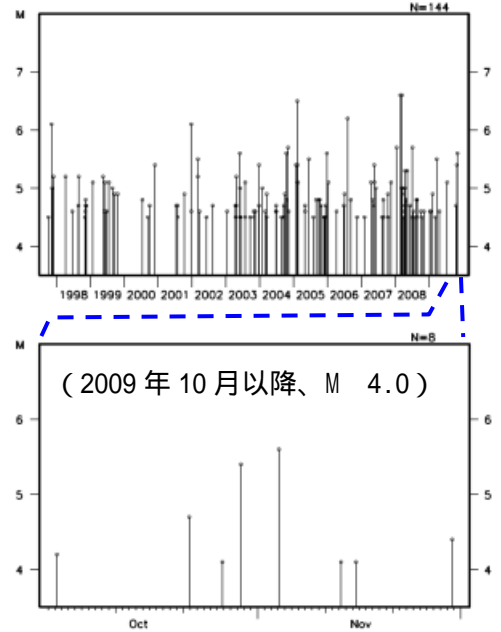


発震機構解は全て CMT 解。

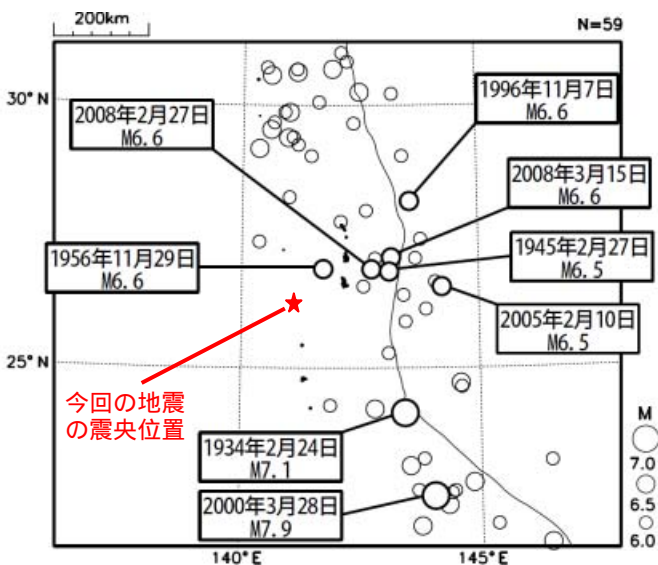
2009年11月4日03時03分に小笠原諸島西方沖でM5.6の地震(最大震度3)が発生した。前月(10月)には、今回の地震の東側で21日にM4.7の地震(最大震度3)、南側で29日にM5.4の地震(震度1以上の観測なし)が発生している。

1997年10月以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域a)ではM6.0以上の地震が時々発生しており、最近では2008年2月27日と3月15日にそれぞれM6.6の地震(いずれも最大震度3)が発生している。

領域a内の地震活動経過図

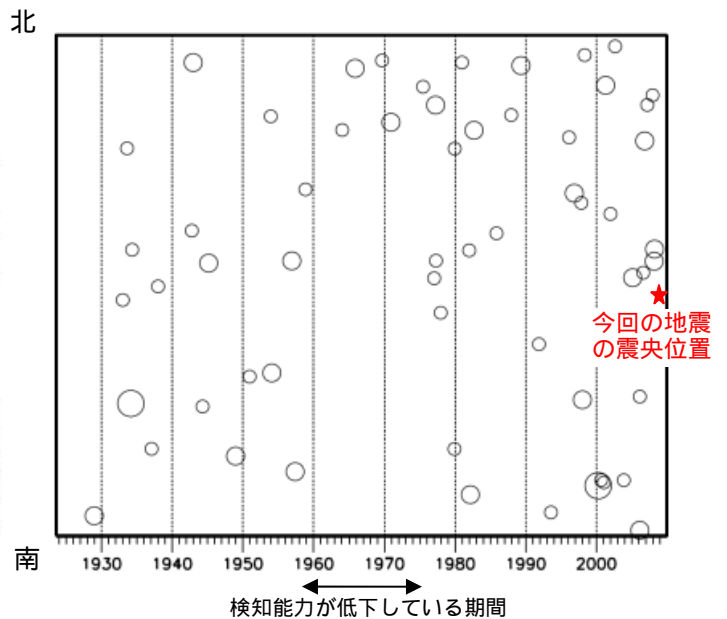


震央分布図 (1923年8月以降、深さ0~200km、M 6.0)



今回の地震の震央位置

左図の時空間分布図(南北投影)



今回の地震の震央位置

気象庁作成